

聞く 聴く 伝える

札幌市立栄北小学校

5年3組 学級便り



No.33

◎学級閉鎖の余波も収まり…。

月曜日は、半分くらいしか登校しませんでした。火曜日もかなりの人数がお休みでした。用心のためや用事でのお休みもあったので登校継続となりましたが、学習の進め方と大繩チャレンジの行く末に思い悩む日々でした。水曜日からは、ほぼみんな揃いましたが、学習等で個別にお話ししなければならない子がたくさんいて、全体に目が向くにくい週でした。そんな中、大繩チャレンジは笑顔がこぼれる結果になりました。地震と大雪もあり、なんだかドキドキの1週間でした。

きる 借り 冬休みの本を3冊
きて ふくろますよ。本をもつ入れ冊

	12月15日(月)	12月16日(火)	12月17日(水)	12月18日(木)	12月19日(金)
メモ	絵の具				かりた本を入れるふくろ
行事	6時間授業		学年朝会		北っ子集会
1	国語 漢字 スキル10のミニテスト	社会 社会とつながる情報	社会 社会とつながる情報	国語 あなたは、どう考える	家庭科 生活を支える物やお金
2	総合的な学習 手をつないでGo 最高学年に向けて	外国語 Unit7	総合的な学習 手をつないでGo 最高学年に向けて	社会 社会とつながる情報	算数 わり算と分数
3	図工 糸のこすいすい	算数 わり算と分数	算数 わり算と分数	算数 わり算と分数	北っ子集会 代表委員さんおつかれさん
4	絵の具ある?	国語 アンパンマンの勇気のテスト	外国語 Unit7	理科 電流が生み出す力	理科 電流が生み出す力
5	算数 わり算と分数	体育 体ほぐしなど	国語 あなたは、どう考える	道徳 治せない病気を治すために	国語 冬休みの図書を3冊借ります。
6	音楽 曲想の変化を感じ取ろう	理科 電流が生み出す力	音楽 曲想の変化を感じ取ろう	総合的な学習 手をつないでGo 最高学年に向けて	14:25
終	15:15	15:15	15:15	15:15	



コミュニケーションと大縄チャレンジ



子どもがよりよく育つには安定したコミュニケーションが重要、と考えています。これは、学校とか家庭、地域社会など、その子を取り巻く全ての人たちとのコミュニケーション状態のことです。当然、学校での活動と関係が深いのは、クラスの友達ですね。学習する力全般にも日々のコミュニケーションのあり方は大きく関わります。文章問題が同じように解けても、深いコミュニケーションが背景にある方が深い理解につながると思います。だから、教室内のコミュニケーション状態をよりよく整えていくことを願う日々です。

社会科の学習が分かりやすいですね。一面的に捉えた意見より、多面的に捉えた意見の方が、説得力があります。

大縄チャレンジという行事がありました。言葉が中心ではありませんが、教室内でのコミュニケーションが濃厚な行事です。

「2分間で大縄を何回跳べるか。」の目標をクラスごとに設定し、目標達成を目指す記録会を行う、という催しです。体力作りをベースとしているため、体育委員会の子が中心になって話を進めます。

5年3組は、学級閉鎖をはさみ、欠席も多い時期が重なり、担任の関わりにいまいちな面があつたりして…、で、回数や練習方法で糺余曲折の日々。前日は多少の波乱の末に、子どもたちだけで、「こうしたい。」という結論を出し、笑顔に満ちた団結タイムを取ったかと思えば、その後の話し合い＆練習では、気付けば怒声が飛び交い始める時間があつたりしました。

迎えた当日、粘り強い体育委員が前日を振り返りながら「がんばろう！」と朝から前で出て声をかけてくれましたし、他の子もお互いをたたえ合うムードが少し広がりました。

そして、中休みの本番。担任は見守りながらも回数を数える補助をしなければなりません。「何とか子どもたちが決めた目標回数に！」と、願うわたしはもうドキドキです。「誰かの引っ掛けかりで、ロープ回収が遅れることができが5回もあれば、恐らく届かない…。」目標回数とタイムの残りを見つめながら、余計な思考がよぎります。

なんと長い2分間だったことか…。

結果、目標回数90に対しての102回。一度も100を超えていなかったのに、ほぼ全員で跳んだのは2週間前に2回くらいだけなのに…。

感動の100回越え。ふう～。ため息とともに感動で少し涙ぐんでしました。

残り20秒段階では結構微妙だったと思います。後に引かない、ほっとする結果に終わり本当によかったです。

結果発表時に、喜ぶ準備をしていたら、ちょっとおまけのハプニングがありました、それもまたため息ものでした。

係活動での発信が、毎日見られるようになっている5年3組。友達と活動を進めることができスムーズになりつつある5年3組です。言葉遣いや整理整頓、学習への取り組み方など、課題はありますが、前向きな成長を信じて、「いまいち」ではない関りに努めよう、と脱力と喜びに満ちた頭で思いを巡らせた1日となりました。